



# NEWS LETTER

The Japan Nursing Ethics Association (JNEA)

## 日本看護倫理学会第17回年次大会のご案内

テーマ：あなたをささえる私もまもられる倫理的環境

会期：2024年6月22日（土）～23日（日）

場所：東京医科歯科大学 鈴木章夫記念講堂（東京都文京区湯島1-5-45）

大会長：小笹由香（東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科准教授）



～第17回年次大会 開催のお知らせ～

2024年6月22日（土）23日（日）、お茶の水にある東京医科歯科大学（学会終了後、録画配信）で、第17回年次大会を開催します！

【あなたをささえる 私もまもられる 倫理的環境】

と題し、さまざまな視点からみなさまと看護倫理について話し合い、その叡智を分かち合いたいと考えています。

さまざまな課題での【あなた】や【私】は、患者、クライアント、家族、他の医療職、看護教員、研究者、看護学生など、さまざまな立場であるかもしれません。そしてその課題は、時に置かれている環境や状況、年齢や構成要因など複雑で、正解は1つではなく、だからこそ悩ましい、こともあるでしょう。

そんなみなさまをささえ、まもるような【倫理的環境】を、ぜひ明日から用意できるかも、と大会の帰路に思っていたけるような、そんな場用意したいと考えています。詳細な内容は、順次公開していきますので、ぜひまずはカレンダーに、第17回大会参加の予定を書き込んでみてください！みなさまのご参加により、その叡智をシェアしていただくことを、心から楽しみにしつつ、準備を進めていきます！！

2024年6月22日（土）23日（日）はお茶の水で、ぜひ会いましょう！！そしてその熱気が、後日録画配信でも、みなさまに届きますように・・・

第17回年次大会長 小笹由香

## 日本看護倫理学会第16回学術集会報告 大会長 麻原きよみ

第16回年次大会は、「ソーシャル・ジャスティス～誰ひとり取り残さない社会のために看護職としてできること」をテーマに、2023年6月3、4日の両日開催いたしました。1日目は前日からの台風の影響を受けましたが、聖路加国際大学（東京都中央区）での現地開催とオンライン配信によるハイブリッド開催であったため、最終的には919名の方にご参加いただきました。プログラムは、講演7、シンポジウム1、特別セミナー1、市民公開講座1であり、演題発表は口演25題、示説34題、交流集会8でした。新型コロナ感染症が感染症法5類に移行した後の大会であり、少し心安らぐ雰囲気の中で活発な学術的意見交換がなされました。関係者の皆様、会員の皆様に心より感謝申し上げます。

第16回年次大会長 麻原きよみ

### 前田樹海理事長よりご挨拶

今年度から理事長に就任した前田樹海と申します。前回の役員改選では任期の関係で多くの役員が交替りましたが、新たなメンバーも前期同様、やる気と力量のある面々ばかりで本学会の層の厚さに感謝しかありません。これらのメンバーとともに、会員のみなさまが周りに入会を勧めたいと思えるような、さらなる魅力あふれる学会にしていく所存です。個別の返事は差し控えますが、アイデアはマイページ>お問い合わせで随時募集中ですよ！



新体制になりました！

理事長	前田 樹海 (東京有明医療大学)
副理事長	八尋 道子 (佐久大学看護学部看護学科)
理事	朝倉 京子 (東北大学大学院医学系研究科) (学術活動推進委員会委員長)
	麻原 きよみ (聖路加国際大学大学院) (課題検討委員会)
	ウィリアムソン 彰子 (神戸大学医学部附属病院 看護部) (看護倫理カンファレンスファシリテーター養成事業検討委員会)
	勝山 貴美子 (横浜市立大学) (広報委員会委員長)
	竹之内 沙弥香 (京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻) (臨床倫理ガイドライン検討委員会委員長)
	田中 真木 (名古屋大学医学系研究科) (会計担当理事)
	中村 充浩 (東京有明医療大学) (庶務担当理事)
	山田 聡子 (日本赤十字豊田看護大学) (編集委員会委員長)
監事	河原 宣子 (京都橘大学) 長谷川 美栄子 (福) 愛全会 高齢者総合福祉施設 サン・グレイス)

## 学術活動推進委員会 (委員長：朝倉京子)

日本看護倫理学会では研究助成の制度を新設しました！令和5年11月1日より令和6年度研究助成の応募受付を開始していますので、学会ホームページから申請書をダウンロードのうえ、奮ってご応募ください。申請締め切りは令和6年1月3日です。大学等の教育研究者や大学院生が実施する研究はもちろん、臨床現場の看護職が実施する看護研究も歓迎いたします。入会申請中・審査中の方でも、研究助成を申請できます。皆様のご応募をお待ちしております。

## 編集委員会 (委員長：山田聡子)

編集委員会は、新委員による新たな体制となりました。よろしくお願いたします。また、学会誌論文種類を見直して「事例報告・実践報告」の категорияを新設し、それに伴い「投稿手引き」を改訂しました。看護倫理学において、研究成果のみならず、現場に存在する倫理的な事例や実践を共有することも大変に重要なことです。それを学会として促進したいとの願いをこめています。

みなさまからのご投稿をお待ちしております。

## 臨床倫理ガイドライン検討委員会

(委員長：竹之内沙弥香)

当委員会では、看護管理者応援研修「身体拘束を始めないための看護管理 第3弾」を、2024年2月11日に神戸大学で対面開催します。身体拘束にまつわる倫理的課題を軸に、ケアの対象の尊厳を守るケアについて、参加者の皆さんと議論したいと考えております。会員は無料で参加いただけますので、お近くの方をお誘い合わせの上、ぜひご参加ください！会場でお目にかかれることを心待ちにしております。(右のQRコードからお申込みください)



## 看護倫理カンファレンスファシリテーター養成事業検討委員会 (委員長：ウィリアムソン彰子)

令和5年度より設置されました本委員会の目的は、看護倫理カンファレンスにおけるファシリテーターを養成し、学会員の能力向上を図るとともに、医療および看護ケアの質向上に寄与することです。今年度は養成研修の内容の検討をしっかりと行い、広く看護倫理を学べる環境とファシリテーションスキルを習得できるプログラムを提供できるようにしたいと考えています。

## 課題検討委員会 (委員長：麻原きよみ)

本委員会は、看護職および諸団体が発信する看護倫理の情報収集に努め、課題解決に向けて検討し、諸団体への提言を含めた活動を行うことを目的としています。今まで、webをとおして寄せられた拘束のあり方等についての相談に対応してきました。来年度からは、本会の研究倫理審査を開始する予定であり、その準備を進めています。

## 広報委員会 (委員長：勝山貴美子)

前委員長のようにフットワーク軽く広報ができませんが、関連する学会等とも連携し、広報活動していきたいと思っております。本学会の取り組みを発信する情報が何かございましたらお知らせください。

## 会計担当 (会計担当理事：田中真木)

2023年度補正予算案が理事会で承認されました。今年度は160万円の赤字予算ですが、学会員を対象とした研究助成や新たな委員会設立、学会誌の運営に向けた予算が計上されています。今後も会員皆様のサービス向上を目指した活動への還元を目指します。ご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

## 庶務担当 (庶務担当理事：中村充浩)

看護倫理が発展していくためには本学会の発展が必要不可欠ですが、ここ数年、本学会の会員数は800人台で停滞しています。そこで、すでに会員になられているみなさまが会員で居続けたいような魅力的な会員サービスや特典を拡充し、入会を希望する方がスムーズに入会できるように、さまざまな施策を続々とリリース予定です。みなさまの身近に看護で悩んでいる方、困っている方がいましたら、是非本学会をご紹介下さい。

## MedicalFinder 学会員特別アクセス権のご案内

本学会ウェブサイトjnea.net では会員サービスの一環として2013年11月1日よりMedicalFinderの提供を行っております。研究・教育活動に是非お役立てください。なお、本サービスのご利用にはIDおよびパスワードが必要で、1年ごとに更新されます。

2024年用のID/パスワードは会員にのみNews letter で案内済み